

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	農業研究所(高冷地研究室)		所在地	真庭市蒜山東茅部1188	
敷地面積	1,602.70 m ²		棟数	5 棟 (計画記載対象 1 棟)	
延床面積	578.82 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	県中北部の高冷地に適する野菜、花、果樹の品種育成や有望品種の選定と、安定生産のための栽培技術の開発を行うために設置				
【想定される自然災害】					
予想震度 5弱		津波 -		浸水 -	
建築規制	都市計画区域外				
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 23,974 kwh	ガス 9 m ³	水道 168 m ³	燃料(灯油) 991 ℓ	
管理上の特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし				

1 施設内建物の概況

名称	研修館	
築年(西暦)	1977年	
構造	鉄骨造 1階	
建築面積	240.61 m ²	
延床面積	240.61 m ²	
主要な用途 (室名等)	執務室、実験室、研修室 書庫、更衣室、給湯室	
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	
利用状況	高	
耐震性 ※1	無	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適
	中性化 ※3	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

- ・耐震改修と長寿命化工事を行い、使用を継続する。また、省エネ設備への更新を進める。
- ・空調等の設備は劣化状況を見ながら定期的に改修又は更新する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
研修館	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修を実施するとともに、屋根及び外壁の修繕を行い長寿命化を図る。 また、窓と玄関の断熱施工、照明のLED化により光熱コストの低減を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 長寿命化工事等
屋根及び外壁の改修、窓と玄関及び照明器具を省エネ設備に更新
- 2 耐震改修
2019年 実施設計
2020年 施工
- 3 設備更新
劣化状況を見ながら定期的に改修又は更新

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
研修館	耐震改修										
	耐震改修とあわせて行う長寿命化等			設計	施工 外壁屋根 玄関窓 照明機器						
	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)									空調設備	給排水設備

4. 概算費用

--